

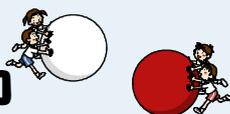
丹邱学舎

＜学校教育目標＞

志をもち、自ら学び、共に高め合い、
たくましく生きぬく西溪っ子の育成

令和3年6月1日(火) 文責 校長 南里美紀江

体育大会で再発見！ 西溪っ子の伸びる力



5月23日(日)に体育大会が無事に実施できたこと、その後も学校生活が安全に送れていることに改めて安堵しています。

今年度の体育大会は、雨とコロナ感染拡大防止と熱中症防止の観点から、昨年度以上に制約した体育大会にせざるを得ませんでした。当初の予定から急に変更、縮小したこともありましたが、先生方も子どもたちも状況を理解し、工夫を重ねて柔軟に対応してくれました。本当に感謝でいっぱいです。低学年のダンス、学年種目、西溪会種目、応援合戦等、それぞれの種目で練習や準備を通して子どもたちは、いろいろな面で大きく成長しました。

例えば西溪会種目。企画運営は5～9年の西溪会役員で、1～9年一緒に競技する西溪校の看板競技です。総練習の時には30分かかって、競技前の整列が半分もできませんでした。また、実際に競技をしてみると予定の2倍ほどの時間がかかりました。そこから本番までの数日間で、西溪会役員達は知恵を絞り工夫を重ねて、競技の運営や内容を変更していきました。全校生徒の協力体制が整い、どんどん動きが良くなりました。そして大川内西溪会会長の指示のもと、当日はスムーズに、しかも誰もが楽しみながら精一杯競技をし、見る人たちまで笑顔にしました。全校児童生徒が一つになった瞬間でした。また、体育大会の練習が始まって2週間の間、毎朝、放送体育委員会と応援リーダーが中心となりグラウンド整備や準備を行い、昼休みには文化整美委員会が中心に草取りや石拾いをしてグラウンド整備をしました。そして、当日の実況中継のアナウンスもすばらしく、県内でもここまで児童生徒が活

躍する体育大会はないと誇らしくなりました。自ら学び、共に高め合う姿を見せてくれた西溪っ子に心からの拍手を！そして、ご理解、ご協力をいただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。

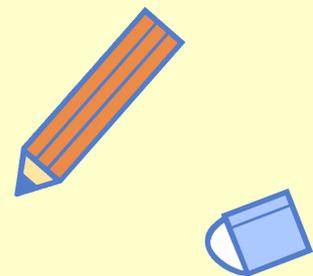


笑顔とあいさつのあふれる西溪校へ！



一日のスタートが順調だったり、気分が良かったりすると、なんだかエネルギーがわいてきて「よし！今日も一日頑張ろう！」という気持ちになります。同じく、人にエネルギーや、やる気を与えてくれるのがあいさつだと思います。毎朝玄関前で何人かの先生達とあいさつ運動をしていますが、子どもたちのあいさつは実にさまざまです。その中で、人を元気にするすばらしいあいさつをしてくれる子どもたちには、年齢に関係なく共通点があります。それは、

- ①相手に聞こえる大きな声であいさつをしている
- ②相手の顔を見てあいさつしている
- ③相手(特に目上の人)より先にあいさつしている
- ④笑顔であいさつしている
- ⑤会釈とともにあいさつしている



保護者のみなさんはお子様、児童生徒の皆さんは自分自身ができているかチェックをしてみませんか。あいさつはコミュニケーションの基本です。西溪っ子には全員、社会に出たときに通用するステキなあいさつを、今のうちに身につけてほしいと思っています。笑顔とあいさつのあふれる西溪校にしましょう。

自分の将来のために タブレットPCを使いこなそう

これからの大きく変容する社会に対応する力をつけるため、国や県の施策によって児童生徒へのPC貸与が進められています。とりわけ多久市はとても教育に力を入れてくれるので、すでに西溪校でも、学年の状況に合わせてタブレット使用を始めました。

将来を見据えると、情報を集めたり、情報の真偽を見極めたり、必要な情報を取捨選択する力が必要です。ネット依存になったり、トラブルに巻き込まれたり、誤った情報に振り回されたり、自分の不平不満を匿名で拡散する大人にはなってほしくありません。学校では、活用法だけでなく情報セキュリティや情報モラルについても学習していきます。PCに縛られたり振り回されるのではなく、有効な活用ができるよう、ぜひこの機会にご家庭でも話をしてください。よろしくお願いします。

